

土木会執行部会 議事録

開催日時：令和6年5月16日(木) 19:00～21:00

場 所：近畿大学 34号館 実験棟 2階会議室

出席者：野田会長、関副会長、久利副会長、林副会長、東山副会長、松田会計、池本常任幹事、寺澤(書記)

執行部会議題

1. 6月1日の予定について

- | | |
|---------------|---------------------------------|
| 12時00分～12時30分 | ルームB、多目的ルームの配置換え。 |
| 12時30分～13時00分 | ルームAにて役員会開催。 |
| 13時00分～13時30分 | ルームA、ルームB、多目的ルームの配置換え。
学生受付。 |
| 13時30分～16時30分 | キャリア支援講演会開催。 |
| 13:30～14:00 | 挨拶・説明等 |
| 14:00～16:30 | 学生移動時間5分、説明20分を計6回行う。 |
| 16時30分～17時00分 | ルームA、ルームB、多目的ルームの片付け |
| 17時00分～17時30分 | 交流会受付。 |
| 17時30分～19時15分 | 交流会開催。 |

- 会長の挨拶の後、業種(建設業やコンサル等)の説明を20分間、先生の誰かにお願いしたい。
→学科長にあいさつはお願いしている。業種の説明含めてあいさつするか検討する(東山副会長)
- ブースの配置上、ルームAから多目的ルームに机を移動する必要がある。
- 今回は手伝いに4回生が2人しかこない予定のため、キャリア支援講演会の受付と交流会の受付(会費徴収)のために手伝いが必要である。
→キャリア支援講演会は寺澤が、交流会は林副会長が対応する。
- 最後の片づけは前回同様、参加者含めみんなに対応する。
- 移動アナウンスは、多目的ルームはマイク、ルームA、Bは個別に口頭で行う。
→東山副会長が対応する。

2. 役員会議案について

第1号議案 令和5年度活動報告(令和5年10月～令和6年5月)

- キャリア支援講演会の開催が早くなったため、役員会を10月から6月に変更。

第2号議案 令和5年度会計報告(令和5年4月～令和6年3月)

- 交流会の参加者が多かったため、黒字になっている。
- 執行部にて承認したため、関副会長と東山副会長より監査の署名もらう。

第3号議案 令和6年度活動計画(令和6年4月～令和7年3月)

- 学生を対象とした見学会実施可能な現場を募集中(できるだけ土曜日)。
- 交流会・キャリア支援講演会を令和6年6月1日に開催
- 近畿大学土木会の名簿整理

その他

○土木会通信について

→林さんに研究内容、池本さんに今の仕事について、柳原先生に近況報告の原稿を作成して頂き第19号を発行。

○土木会の入会金について

→キャリア支援講演会目的で入会が毎年2名程度いる。

→昨年度の学生の入会者は48名(卒業生93名)で、入会率は51.6%と低い水準。

→今まで学生の会費も値上げしようとしていたが、値上げすることにより入会者が減れば意味がない。

→現状学生が3,000円(終身会費)。

→卒業後の入会と卒業時の入会と同じ入会金では不公平感が歪めない。

途中入会の入会金を10,000円に値上げする。

規約の変更については規約に入会金についての記載ないため変更は可能。

→途中入会者の入会金の変更は、役員会により承認を受けた後、実施する。

3. キャリア支援講演会

○36ブース案について。

→標準のブース数は35であるが、本年は36とするための配置方法を検討。

○ブースの団体配置方法について

→建設業(多目的ルーム)とコンサルタント(ルームA)、公共団体等(ルームB)とする。

→昨年、コンサルに人が少ないと意見でたが、別の問題である。

→ブースの机に会社名だけはる。業種はいれない。

○学生が訪問するブースを割り振ろかどうか。

→学生が特定のブースに集中することを避けるために予約制を導入するかを検討を行ったが、本年は予約制を導入しない。

→学生用の椅子は3席/ブースであるが、希望者が多い場合には立ってもらおう。

4. 交流会式について

○式次第の検討

→退任教員の挨拶は歓談中に時間を見て行う。

→乾杯は例年通り最年長の方(現状では小田文昭氏 S. 50 卒)にお願いする。

→閉会の挨拶は、林副会長にお願いする。

5. その他

○名札について

→キャリア支援講演会参加の学生に対しては配布しない。

→キャリア支援講演会の講師に関しては、講師の区別のため名札を配布する。

→交流会参加者には名札を配布する。

○参加者数について(5月15日現在)

役員会

役員数92名 出席回答17名、委任状30名 計47名

キャリア支援講演会	学生参加者 14名
交流会	卒業生60名、先生5名（回答無6名）、 退任教員0名（回答無し5名）、 学生0名

○名簿について

- 希望している方に販売しているが、悪用されないように登録された自宅住所へ送付に限定している。また、名簿の全てのページに名前は入るようにしている。
- 現状、昨年行った昭和58年以前の卒業生への調査結果により、名簿の修正を行っている。
- 今後の管理についての検討が必要であるが、一案としては名簿用の年会費を徴収し、クラウド管理することが考えられる。